



サービス連合新聞

〒160-0002
東京都新宿区坂町
28-6 坂町Mビル2F
TEL 03-5919-3251
発行人 見世順治

2015春季生活闘争方針決定 ～第14回中央委員会を開催～



冒頭に挨拶を行う後藤会長

サービス連合は、1月30日に連合会館において、「第14回中央委員会」を開催しました。当日は役員・中央委員・傍聴者など161名が出席し、「2014秋闘のまとめ」、「2015春季生活闘争方針」、「2015〜2016年度執行体制」について提案し、全ての議案が可決されました。西川副会長の挨拶で開会

した中央委員会は、後藤中央委員（帝国ホテル労組）と吉野中央委員（日旅グループ連合）を議長団に選出し議事に入りました。主催者を代表して挨拶した後藤会長は、2015春季生活闘争について、私たちの産業の発展には、人財へのさらなる投資が欠かせないことや、産業間格差を段階的に縮めていくため、



採択の様子

また、核兵器廃絶1000万人署名や自然災害への対応などについて協力を要請しました。議案審議では、中央委員からの質問や意見もあり、本部答弁ののち全ての議案を原案どおり採択しました。議長団のスムーズな進行もあり、予定より早く議事が進み、早嶋副会長の閉会挨拶と満場一致の拍手をもって中央委員会を終了しました。（2014秋闘のまとめは3面を参照）

労働条件の引き上げが必要であることを強く訴えました。また、核兵器廃絶1000万人署名や自然災害への対応などについて協力を要請しました。議案審議では、中央委員からの質問や意見もあり、本部答弁ののち全ての議案を原案どおり採択しました。議長団のスムーズな進行もあり、予定より早く議事が進み、早嶋副会長の閉会挨拶と満場一致の拍手をもって中央委員会を終了しました。（2014秋闘のまとめは3面を参照）



左：後藤議長 右：吉野議長

2015春季生活闘争方針要旨

【正規労働者の賃金改善・一時金】
全加盟組合は、賃金カーブを維持したうえで、〇、五%以上の実質的な賃金改善に取り組む。
一時金は、前年同年齢者の一時金水準の確保に取り組んだうえで、「指標」を活用し主体的に水準向上に取り組む。「指標」を活用しない場合は年間四ヶ月相当

【契約社員やパートタイマー等の待遇改善】
月例給三千二百円以上・時間給労働者二十円以上改善
不合理的な労働条件の是正・無期労働契約への転換

【最低保障資金】
産業別最低保障資金協定化（都道府県別基準設定有）
ポイント年齢別最低保障資金協定化（基準設定有）

【同時要求】
年間総実労働時間1800時間の実現に向け、各加盟組合が所定労働時間短縮等に主体的に取り組む。
両立支援・男女平等社会の実現にむけ取り組む
60歳以降の雇用確保に取り組む

【交渉スケジュールについて】
要求書提出は原則2月末日。（遅くとも3月上旬）
3月16日から20日は、集中交渉期間
3月末日までの決着を目指す

第14回中央委員会では、夏の定期大会にむけ、次期の執行体制についても確認しました。2015〜2016年度の登録人員目標を、43,000名とし、専従者の配置について本部役員7名と、東日本地連・中部地連・西日本地連の各事務局長3名の合計10名の専従者を配置することを確認しました。

第14回中央委員会で確認された「2015春季生活闘争」方針の要約は左図のとおりです。詳細は議案書またはホームページをご覧ください。

中央委員会学習会

中央委員会に先立ち、学習会を開催しました。講師に(株)日本総合研究所首席研究員の藤谷浩介氏をむかえ、「観光産業に期待すること」をテーマに1時間講演いただきました。人口動態や経済状況等データを基に、観光産業における課題提起がありました。加えて、観光産業は今後、日本で成長が見込める唯一の産業であると述べ、産業へのエールをいただくとともに、日本経済の好循環には賃上げが最も効果的であると賃金



日比谷公会堂 ガンパロー三唱

連合は、2月5日に2015春季生活闘争の総決起集会を東京・日比谷公会堂で開催し、2070名が集

連合2015春季生活闘争スローガン

2/5 日比谷公会堂 春闘開始集会開催

まりました。サービス連合も加盟組合の協力のもと35名で参加しました。

古賀会長(中央闘争委員長)は「時代の分水嶺となる重要な闘い。賃上げ・時短・政策要求の3つの柱を掲げ取り組む」と宣言。「要求に確信を持ち労働組合が社会から与えられた使命を自覚し粘り強い交渉を展開することを誓い合おう」と呼びかけ大きな拍手がわきおこり、2015春季生活闘争がスタートしました。

改善の必要性について強調され、労働組合の春季生活闘争への期待について述べられました。わかりやすいデータとスピーディーな展開に参加者も惹き込まれました。2015春季生活闘争の取り組みにつながる学習会となりました。データはホームページに掲載しています。ご利用ください。



講演する藤谷講師

第14回「パワーアップ」研修会参加者募集

4/21 東京・南部労政会館

女性組合役員および男女平等推進担当者を対象に毎年開催しているエンパワーメント研修会。今年で14回目の開催となります。今回は基調講座に(株)ビジネスプラスサポートの柴田典子氏による「女性のためのリーダーシップ研修」とグループディスカッションを実施します。4月21日(火)10時から17時まで、東京南部労政会館で開催します。詳細ならびに参加希望の方はホームページをご覧のうえ、申込み下さい。定員が



昨年の研修会の様子

衆議院議員選挙

昨年12月14日に実施された第47回衆議院議員選挙で、サービス連合が推薦した候補者43名のうち22名が当選しました。

また、労働組合の社会的責任として、投票率の向上にむけ連合本部の「投票に行こう！」運動を展開してきました。今後も、4月の統一地方選挙をはじめ様々な選挙が予定されていますが、継続して取り組むこととします。

政策・制度要求

サービス連合は、1月に開催された第11回中央執行委員会、交運労協をつうじて観光庁や財務省などの各省庁に提出する政策・制度要求を確認しました。

内容は、主要駅での貸切バス乗降場整備や成田空港貨物地区の安全性確保、改正耐震改修促進法に対応する宿泊業への支援などです。今後は、交運労協での議論を経て、4月に交渉を行う予定です。全内容はサービス連合速報をご覧ください。交渉結果は30号で報告します。

これとは別に、サービス連合独自に観光庁と4月に意見交換を実施予定です。

今号と次号で、国際産業別労組(GUF)のうち、サービス連合が加盟するIUFとITF(国際運輸労連)を紹介いたします。今回は、IUFです。本部はスイス・ジュネーブにあり、130カ国255万人余りの組合員で構成されています。

①農業・農園・農村分野、②食品飲料製造、③ホテル・レストラン・ケータリング・ツーリズム(HRCT)、④タバコ栽培・製造・販売の4つの分野で組織され、サービス連合は③のHRCT部に登録しています。

また、欧州・アジア太平洋など6つの地域組織を設けています。

食品関連労働者の経済的、社会的な権利を守り、地位向上と、世界の自由と平和に貢献することを目的に活動しています。

主な活動は、未組織労働者の組織化、発展途上地域を中心とした教育活動、ILO(国際労働機関)と協力し、食品関連産業に関する国際労働基準(ILO条約・勧告)の設定や普及、関連する国際機関への政策提言や

IUF(国際食品労連)について

意見具申等です。最近では経済のグローバル化に伴い、多国籍企業問題や地域の人権や団結権等に保つる問題が中心となっています。

私たち産業に係わる取り組みでは、国際枠組み協定(グローバル枠組み協定)締結があります。国際枠組み協定とは、グローバル企業と国際産業別労組との間で企業の行動規範などについて締結する協定です。内容にはILO条約や勧告で示されている権利や、それを上回る労働基準等が言及され、締結したグローバル企業の労働者に適用されます。企業にとっては、労働者の権利尊重などをつうじCSR(企業の社会的責任)に対する真摯な姿勢を国際社会にアピールできます。

IUFは、世界的なホテルグループ「アコーホテルズ」と労働組合権に関して、オールインクルーシブ旅行を提供する「クラブメッド」の欧州・アフリカ地域で労働における基本的権利に関して国際枠組み協定を締結しています。

4月はノー残業デー設定を!

サービス連合では、年間総実労働時間1800時間を目標として、2012年から毎年10時間づつ短縮することを目標に取り組みを進めています。4月は仕事における安全と健康のための世界の日があります。そこで、組合員全員を対象に一体感ある取り組みとするため「仕事における安全と健康のためのノー残業デー」を設定することになりました。ノー残業デーを設定して一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現にむけ取り組みましょう。サービス連合では、取り組み周知用にポスターを作成し、ホームページに掲載予定ですので活用して下さい。

2014秋闘まとめ

冬期一時金平均1.31カ月・年間2.86カ月

第14回中央委員会(1月30日開催)で2014秋闘まとめが確認されました。12月17日までの集計で、冬期一時金の平均支給カ月は1.31カ月となりました。業種別では、ホテル・レジャー業(54組合)1.13カ月、観光・航空貨物業(66組合)1.46カ月となりました。

夏の一時金とあわせた年間支給平均支給カ月は、全体では2.86カ月と前年からは0.08カ月の増加となりました。業種別では、ホテル・レジャー業の継続協議となった9組合

とあわせて73組合が、安心して働き続けることができ、環境整備と産業間格差を是正にむけ取り組みました。多くの加盟組合が、秋闘方針である11月末決着にむけ取り組み、例年より合意時期が早まりました。引き続き労働条件の引き上げにむけた取り組みが必要であること、積極的に経営諸施策に働く者の観点から意見反映を行えるよう総合労使協議体制の確立を目指すことを確認し、2015春季生活闘争に活かしていくこととしました。詳細は、サービス連合ホームページをご覧ください。

**住まいの備えは
火災共済・自然災害共済で安心。**

火災共済

自然災害共済

全労済は、営利を目的としない保障の生活として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心と誇りある暮らしをサポートしています。出資金を必ずお支払いください。組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済



国葬の様子

この他に、各国の日本国大使館で一年の最大のイベントである天皇誕生日祝賀レセプションを開催しました。

近況報告と雨季の生活

ザンビアからの便り Letter From Zambia

1. 近況報告
マイケル・サタ・ザンビア大統領が、10月28日に逝去されたことを受け、11月11日に首都ルサカで国葬が行われました。小井沼紀芳駐ザンビア特命全權大使が出席し、天皇皇后両陛下からの花環を供花しました。私は、その花環を会場に届け、少しでも前に並べられるよう事前調整を先方政府担当者で行いました。

ザンビア柔道協会と共催で開催しました。当日はナショナルチームの選考も兼ねており二百名近くが集まりました。ザンビアでは年々柔道人口が増えています。柔道着が手に入りやすいため各国から寄付されています。日本人の名前が書かれています。道着を着用した選手を多く見ました。

2. 雨季の生活
雨季になりました。日本では経験のない激しい夕立もあります。ほとんどの道路で排水設備が整っていないため、雨が降ると道路は川のようになり、まったく路面が見えなくなります。また、計画停電に加え、雨が原因で、電線等が故障してしまうため、停電が頻発に起こるようになりました。発電機を貸与されていますが、燃料は自分で購入しています。新年早々、続けて48時間以上も停電し、ガソリンスタンドに何度もディーゼルを買いに走りまわりました。乾季から雨季に変わるこの季節、大量の羽アリが出てきます。夜になると飛び回り、翌日になると当たり一面羽アリの死骸になります。写真は、私の家の中ですが、窓は閉めているにもかかわらず、朝起きると床一面に羽アリの死骸が。一瞬言葉が失いました。まだ試す機会がないのですが、この羽アリは非常に美味だそうです。(在ザンビア日本国大使館 山尾昌博)



羽アリ(家の中)

